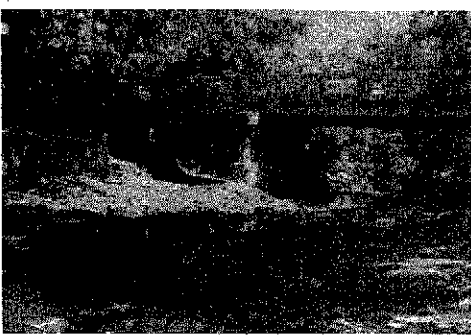


# 干ばつ 応急対策本部解散

節水ご協力に感謝  
異常干ばつには水道の節水にご協力いただきありがとうございました。幸い恵みの雨が降り、西川の水位も平常に戻りました。ご安心ください。



3日夜西川に取水ポンプを備えつける水道職員



ほしあがった西川(2日西川橋下にて)

前日の雨で水ききんが好転したので六日午後三時干ばつ応急対策本部を解散しました。町では六月三日干ばつ応急対策本部発足と同時に、町対策本部を設置し、助役を本部長、各課長を本部員として活動を開始しました。

対策本部は直ちに対策会議を開き、①対策期間中毎日課長一人が当番員として八時から日没まで勤務②車を警備し招集体制をとる③水道水、散水禁止のため職員が巡回指導のパトロールをする④伝染病発生予防、特に赤痢対策の強化をする⑤農業用、揚水ポンプの確保をする⑥火災予防を徹底するため広報宣伝をする⑦水通断の確保を徹底して対策をたてて対処しました。

⑧水道関係  
水道の節水は、六月二日から西川よりの取水ができなくなり、

## 一時は川底を見せた西川 恵みの雨で水ききん好転



1967年6月7日  
第30号  
発行所 新巻町 役場  
〒3131 新巻町 3131  
電話 企 函 調 査 課  
編集 佐 民 権 人 口  
(昭和42年5月31日現在)  
総人口 27,743人  
給人口 14,425人  
男 13,318人 女 11,107人  
世帯数 5,997

干ばつ被害状況視察のため、二日君副知事が来巻しました。君副知事は午後三時西川水源地に到着し、巻町長、助役、郡土地改良区役員らが出迎えました。

君副知事は水道取水塔に立ち、地元の水質を視察し、西川の濁りや水位の低下を視察しました。町当局は西川の水が枯れたので矢川の排水を逆流させて西川に流入し、水道の給水を行なっている現状を説明、このまま続けば断水もまぬかれぬ結果になると実情を訴え、県に陳情しました。

巨知事は西川を視察のため、六日午後巻町水源地に到着し、巻町長、助役、西川町長が出迎えました。巨知事は巻町長からこれまでの状況について説明を聞いた後、西

矢川からの逆流水を利用して給水に努めた。しかし取水口の水位に達しないため、取水ポンプを用いに入れた取水、さらに三日もう一台取水ポンプを設置、二台のポンプで水道水を確保しました。

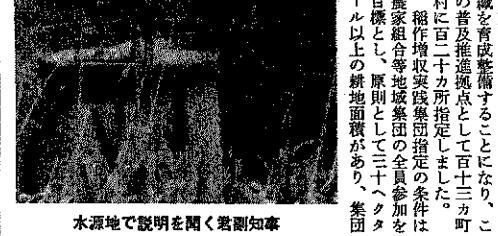
幸いに五日の雷雨によって上流ではかなりの雨量が降り、西川の水位は平常に戻り、危機を脱出しました。

なお、感傷を強化してはいたしません、金魚を飼っている家庭は十分注意してください。

⑨消防関係  
六月二日火災警報発令にともない、河川に頼れないので貯水利用するように手配すると同時に、自動車ポンプ用大型消防ポンプ三基購入。中継用折たたみ水そう二期準備し、万一の火災発生に備え各家庭でも浴槽、バケツ、風呂に消防用水を準備しておくようPRしました。

⑩農林関係  
六月一日現在の被害状況は、水稲では全作付け二七二haのうち田植不能五〇ha、枯死す前二五〇ha、特に水不足一五九〇ha。スイカは全作付け二八haのうち、水不足一〇〇ha、いちじく病害が発生して、一部は球根でばちよう収穫期であったので、三割の減収が予想された。このほか全作付け一六六haのうち、水不足四七〇ha、高温によるいちじく病害が発生していた。これらの状態をばあくした対策本部では、農業用水確保のための

干ばつ現況視察に  
知事、副知事来巻  
川の水質を視察、やや平常の水位に戻ったと聞き安心して帰りまし



水源地で説明を聞く巻副知事

郡対策本部も解散  
西巻原郡町村会(会長佐藤賢之輔)は、三日午前十時から巻町役場に臨時町村会を召集、干ばつ対策会議を開きました。

連日の晴天続きのため、郡内町村の水不足が深刻化し、一部には農作物が枯死する前どころでもありました。また西川の水が低水につき巻町、西川町は水道の給水にも支障をきたすようになり、これが対策について即日、西巻原郡干ばつ応急対策本部を巻町役場に設置

揚水ポンプを、県に要請手配を求めました。揚水ポンプ六台を借入れ、五月三十一日災害のための予備苗代を馬堀に設置し、対処しました。

今後このような事態が起きることもあると思いますので、町民みなさんの一層のご協力をおねがいます。

議会は干ばつを視察  
町議会産業経済委員会は五日緊急委員会を開き、干ばつ対策について協議をしました。

午後から町長、正副議長、報道機関といっしょに町内の干ばつ被害状況をつぶさに視察しました。

置、本部長に巻町長がなりまし  
対策本部では江崎本部長(巻町長)西川町長、巻町助役、岩室村助役がただちに県へ出向き、

⑪西川が計画水量の半分以下に減水しているため、信濃川の水を特別にまわして西川沿線の農業用水、水道水を確保してもらいたい。

⑫予備苗代をつくるについて県から補助金を出してほしい。

⑬揚水ポンプなどのあつせんに万全の措置をとってもらいたい。と要請、陳情を行いました。

白山・松山部落指定を受く  
稲作増収実践集団に  
白山部落と松山部落の集団栽培組合が、このほど稲作増収実践集団の指定を受けた。

これは県が米百万トン増産達成運動推進のため、全国的に生産組織を育成整備することになり、この普及推進拠点として百三十三町村に百二十カ所指定しました。

稲作増収実践集団指定の条件は、農家組合等地域集団の全員参加が目標として、原則として三十ヘクタール以上の耕地面積があり、集団

新国道工事進む  
センター道路(中郷屋間  
国道一六号線バイパス(新二国)の建設改良工事が、農業センター道路から西川町に向って進められてい

工事が行なわれている巻町内の総延長は千九百メートルで工事費は二千八百万。十月下旬には、

昭和三十二年度  
町政モニター決定  
昭和三十二年度の町政モニターが決定しました。

町政と町民を結び、町政の方針や目的をモニターを通して町民に知らせ、また町民の意見や批判を誤りなく町政に反映させるために、昨年から町政モニターを設置しました。

モニターの仕事は①会議に出席して意見や要望を述べてもらう②いろいろなご意見やお気づきになったことを通報してもらう③世論調査その他必要によって調査をおねがいます。これらの結果をまとめて町政に反映していくことになりました。

次の十五人の方が町政モニターに選ばれました。

- 安中五越新大福竹馬九一東四
- 郷前月原井町野山区区区
- 尾屋浜原近伊新池石鈴平
- 阿苗遠鈴高近伊新池石鈴平
- 坂木藤高杉丹丹藤浦浦山山木野
- 瑞五栄高省一藤藤正道正木野
- 穂百吉実松一衛一蔵勝江一子六



急ピッチに進められている新2国建設工事

15・16日

前夜祭から多彩な行事

大名行列・怪獣も登場



民謡流して幕明け
△十四日午後七時、難波会による民謡流し、午後七時三十分より...

りに出店
祭りの風物詩の一つである臨時露店市場が十四日から十七日まで...

環境衛生に働く
4兼機を購入
新しい購入されたスイング・フォーク一台を譲りました。

年金保険料
免除申請は早めに
国民年金被保険者で昭和四十二年四月分から昭和四十三年三月分...

住宅金融公庫
住宅資金など貸付
住宅金融公庫では、会社、個人などから住宅資金を貸付しています。

消防技術の講習会開催
お知らせ
本年度の消防設備士試験が次の要領で実施されます。

やめよう
けしの不正栽培
けしの花はきれいで、そのついでに栽培しがいがある。...

巻戻まつりは、これまで七月十五、十六日に行なわれて来たが、ここ数年米天恵に恵まれません...

夜は大火花大会
十五、十六日の夜八時三十分から大スターマインをはじめ数発の花火が打ち上げられます。

「日報おかあさん教室」
赤ちゃんののために勉強
新潟県、巻町、新潟日報社共催による「日報おかあさん教室」...

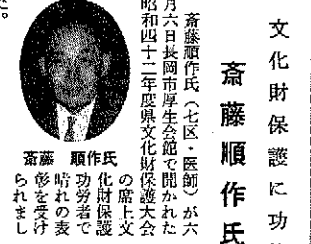
環境衛生に働く
4兼機を購入
新しい購入されたスイング・フォーク一台を譲りました。

年金保険料
免除申請は早めに
国民年金被保険者で昭和四十二年四月分から昭和四十三年三月分...

住宅金融公庫
住宅資金など貸付
住宅金融公庫では、会社、個人などから住宅資金を貸付しています。

消防技術の講習会開催
お知らせ
本年度の消防設備士試験が次の要領で実施されます。

やめよう
けしの不正栽培
けしの花はきれいで、そのついでに栽培しがいがある。...



文化財保護に功績
斎藤順作氏暗れの受賞
斎藤順作氏(七区、医師)が六月六日長岡市厚生会館で開かれた昭和四十二年県文化財保護大会...

「日報おかあさん教室」
赤ちゃんののために勉強
新潟県、巻町、新潟日報社共催による「日報おかあさん教室」...

環境衛生に働く
4兼機を購入
新しい購入されたスイング・フォーク一台を譲りました。

年金保険料
免除申請は早めに
国民年金被保険者で昭和四十二年四月分から昭和四十三年三月分...

住宅金融公庫
住宅資金など貸付
住宅金融公庫では、会社、個人などから住宅資金を貸付しています。

消防技術の講習会開催
お知らせ
本年度の消防設備士試験が次の要領で実施されます。

やめよう
けしの不正栽培
けしの花はきれいで、そのついでに栽培しがいがある。...

斎藤氏は、昭和二十六年郷土の歴史、民俗資料の遺失をうれい、巻町史学会を結成その保存、記録に力を注がれた。昭和二十八年には、県文化遺産を県教委と共催で開催大賞好評を博した。これは斎藤氏の熱意と尽力のたまものだった。

昭和三十四年無管理状態にされた町文化財の保護を痛感し町当局に対し文化財審議会の設置を強く要請。その設置をみるや推進されて文化財保護委員となり巻町指定文化財の審判二十九件その点数三十七に及んでいる。これらを巻町双書にまとめ、すでに十一冊発行された。その中に斎藤氏自身の著書「巻町史話」「三湯水抜」も含まれている。また斎藤氏は本年公民館長として社会教育、町民の文化向上にも大きく貢献、功績を残されている。

巻町青年団は、昨年九月に足立以来、舟立、芸能大会、団別旅行、球技大会、料理、家計簿講習会、県外研修、交歓会など

有意的な活動が続いています。
児童扶養手当の届出を忘れずに
厚生課では、児童扶養手当をもらっている人の定額所得控除申告を六月十日、十日の二日間受付相談室で行います。

住宅金融公庫
住宅資金など貸付
住宅金融公庫では、会社、個人などから住宅資金を貸付しています。

消防技術の講習会開催
お知らせ
本年度の消防設備士試験が次の要領で実施されます。

やめよう
けしの不正栽培
けしの花はきれいで、そのついでに栽培しがいがある。...

やめよう
けしの不正栽培
けしの花はきれいで、そのついでに栽培しがいがある。...